

重症児(者)食・栄養研究会 リモート会議を開催



第 110 号

令和3年7月25日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

令和3年5月12日(水)
に第1回近畿ブロック食・
栄養研究会を(リモート)

開催しました。令和2年3
月17日に予定していた会が
延期になっていましたが、
今回リモートでの開催とな
りました。

重症児(者)の食事は、
その特有な摂食・嚥下方法
や疾患により、専門性と多
様な対応が求められますが、
コロナ禍により研修等の減
少が見られます。

そこで他施設の情報を収
集すると共に、実践で得た
事例の発表や情報交換を行
い、重症児(者)の食生活(経
管栄養含め)の向上を図る
ための場を設け、重症児
(者)施設職員近畿ブロッ
クの栄養士・調理師を中心

とした各施設との情報交換の場
を目的に開催しました。

重症児者施設協会近畿ブロッ
ク22施設中18施設33名の参加が
あり、開会式の挨拶を花ノ木の
岡安勤先生から頂きました。

事例発表は、花ノ木医療福祉
センター「肉・魚に酵素剤を使
用した嚥下調整食の有用性の検
討」、びわこ学園草津「コネク
タ変更に伴う影響について」、
南紀医療福祉センター「コロナ
感染症に罹患報告があつてから
の様子」、と3施設から発表し
て頂きました。

全体討議は何をしようか悩み
事前アンケートを取ったところ、
コロナ禍における非常食対応に
ついての質問が多かった事から、
再度、アンケートにコロナ関連
の質問を追加し「コロナ禍にお
ける非常食対応について」を全

体討議として取り上げました。

どの施設も災害食と同様に重症
児(者)にとって非常食は何が
適切か悩んでおられ、花ノ木で
はキューピーのやわらかシリー
ズを保存していますが、賞味期
限が短く、無駄にならないよう
に献立に反映させるための作業
がとても大変で、他施設はどう
されているか聞いてみたかった
のですが、今回多くの施設で同
じものを用意され献立反映に苦
劳されていることを知ることが
出来ました。委託業者利用施設
では中央作業所にて真空パック
にし、盛り付けだけの状態で施
設に配送されるため、非常食の
概念がない施設もありました。
全体討議としていたのに非常食
紹介と発表質疑応答となつてし
まったところが反省点としてあ
げられます。良かった点として
は、初めてリモートでの会議チ
ャットでしたが、コロナ禍でも
リモートで情報共有が図れるこ
とがわかり、質疑応答等とても
スムーズで有意義な時間を持て、
リモートでも参加しやすかった

等があげられます。

第1回近畿ブロック食・栄養
研究会は地域発信事業として企
画しましたが、コロナにより延
期となりました。開催でき
ると思つたら初のリモートとな
り、主催・司会ということもあ
り緊張しっぱなしでした。各施
設共にリモートが初めてで上手
に活用できるか心配されていま
したが、事前確認日を設け画像
確認等をしたことで、当日はス
ムーズに終わることが出来まし
た。他県施設栄養士・調理師と
画面共有し情報交換できコロナ
禍の状況下でも繋がる事ができ
たことがとても嬉しかったです。
今回得た知識を地域発信事業に
転換できるように今後も頑張っ
ていきたいと思ひます。

(給食係)



日中活動の様子

第一病棟

桜が咲き、穏やかな天候の4月は、奮って散歩に出かける様にしました。病棟の南テラスは、秋に植えたチューリップやデージーや白ユリが咲き、スナッパエンドウやジャガイモも収穫できました。5月に園芸で植えた夏野菜も育ち、見て、採って、食べての楽しみです。外出活動では、亀岡市内、八木町のドライブと食事のテイクアウトを家族室で楽しんでいただいています。



(生活支援員 井関るみ子)

第二病棟

4月に入り、春の散歩シーズン到来。個別・小集団共に散歩へ出掛ける事が多く、センターに咲く桜・つつじ・芝桜等をゆつくり見て過ごせました。

病棟からなかなか出られない方も、病棟のベランダに出て外の風を感じ、風に流れるしゃぼん玉を見て過ごし、病棟生活を楽しんでいます。

そして、この季節になると、ウキウキしている日中活動グループがあります。

それは、園芸活動です。「ニンジン植えたいな。」「夏には赤い花を咲かせたい。」入所者の方から思いが溢れ出てきます。5月に育てたい物を植え初め、今では園芸場所が多くの野菜・花に囲まれてすくすく育ってきています。先日は、立派な「新じゃが」を収穫しました。次は夏野菜！収穫が楽しみです。

(生活支援員 山内孝子)



第三病棟

今年も園芸活動をスタートしました。春はプランターに植えたチューリップの球根が無事に花開き、中庭を華やかに彩ってくれました。

次の季節に向けて新しくどんな花を植えようか考え中です。園芸は奥深く、担当チームで頭を悩ませながら試行錯誤しています。



(生活支援員 飯田真菜)

第五病棟

今年度は、各居室を一つのグループに編成し、集団活動に取り組んでいます。天気の良い日には中庭を使用してティータム、ベランダでしゃぼん玉、居室ではアヒル釣りゲーム、楽器を使って音楽鑑賞、アロマを焚いてアナウンス付きのプラネタリウムを楽しんでいます。赤・ピンク・緑・青 四色の光が白い天井を明るく輝かせるミラーボールを使ったスヌーズレンも大人気です。様々な色や形が変化する光を見て、目を大きくあけて眺めておられます。

先日、詰所前のホールの一角をブレイルームにしました。早速、プロジェクトで音楽ビデオを観ながら注入をしました。

(生活支援員 棟影昌子)



はなのき通所

はなのき通所の玄関横に花壇があるのを御存知ですか？昨年に設置し約半年が経ちました。通所ではからだサークルを中心に利用者の方と寄せ植え・水やりをしています。

冬から春にかけてはピオラやパンジー、金魚草などを育て、春からは昨年増やし



た四季咲きのイチゴ苗や日々草、ポーチユラカなどを育てています。プランターの花も綺麗に咲き、病棟の利用者さんも立ち止まって見ておられ、ほっとできる癒しの場所になっています。

(生活支援員 青山博章)

児童発達支援センター

児童発達支援「おひさま」では、箱汽車やサーキット活動をしているクラスがあります。今までは、「自分がしたい」という気持ちの強かったお子さんが、友達を待ったり、応援することができるようになったりと、集団の中で日々成長される姿が見られています。

放課後等デイサービス「ココはなのき」では、学習の基礎となる力や身体づくりを目的として、プリント学習やカルタ、風船バレーやサーキットなどの活動を行っています。また、ゲームやソーシャルスキルトレーニングを通して、友達とのやりとりも促しています。子どもたちは少しずつ新しいクラスにも慣れ、設定した活動以外の時間にも友達同士の関りが増えています。

(児童支援係 作業療法士 中井沙織)



経歴を教えてください。

生まれは神戸市です。徳島県で幼少期を過ごし、東京へ。小学1年生の夏にまた徳島へ戻り4年生までいました。それから香港へ。日本人学校で中学1年生まで通い、再び徳島へ戻り中学・高校を卒業、地元の徳島大学医学部に入学、卒業後は京都第二赤十字病院で初期研修を行い、その後同院と京都府立医科大学付属病院で後期研修を行いました。研修中は主治医の立場で様々な疾患を診てきました。今年3月に4年間の大学院博士課程を経て現在に至ります。

小児科医になろうと思われたきっかけは？

医大入学時は小児科医になるつもりはなかったです。医学部の実習で全科を回るんですが、小児科で担当した白血病のお子さんとの出会いが大きかったです。初めは学生の私にお母さんはいい顔をされず、行くのがつらかったです。毎日通っているうちにお母さんが懐いてくれて、お母さんも徐々に認めて心を開いてくれました。関係も良好になった実習最終日にその2歳の子が歌をうたってくれて、それを見たご両親がすごく嬉しそうに笑っていて。その姿がすごく印象的でした。その経験がきっかけです。

花ノ木ではどんなことをされていますか？

主に病棟の長期、短期入所されている方の診療をしています。具体的には日々の栄養面・体調面の管理をはじめ、感染症や急変時の治療など幅広く診させてもらっています。外来はまだ少しですが、これから慣れて関わりが増えていけばいいと思います。

―(所内報の自己紹介に)膠原病、腫瘍免疫等たくさん学んでこれ、「長期的な視

点で小児科医として障がい児者への介入が必要」と書かれていましたが、ご経験からですか？

小児科医は手術をしないし内視鏡などの特化した手技も少ない、いわゆるこどもの総合内科です。その中でも更に専門性をそれぞれ持つことが多いのですが、それが私の場

シリーズ「この人にきく」

医師 久保 裕 さん

今回は、今年の4月から勤務されている久保 裕 先生にお話を伺いました。

合は免疫・膠原病・リウマチです。

大学病院の急性期病棟で重い障がいをもって生まれたお子さんの急性期を診てきて、そこでは急性期のことが中心で、退院後や在宅のことまで十分に介入できないので、日常のことまで手が届くような医療をしたいと思いました。積極的に家人ともコミュニケーション

ションを取ることで、自宅で困っていることを聞く機会も多くなり、よりその思いが強くまりました。今はコロナ禍でご家族にお会いできないので、コロナが落ち着き面会に来られるようになったらお話をするのが楽しみです。

花ノ木の印象はどうですか？

働きやすくあたたかいです。規模もあるかもしれませんが、アットホームで距離が近いですね。利用者さんをこうしていいこうと、生活支援さんやナースさんやドクターや学校の先生たち、色んな職種の方が絡んで話し合っ



じます。あと造りがすごく好きで、特に天気が良い日は風と日がたくさん入ってきて気持ちいいです。

趣味は？

趣味は旅行と読書です。本は新書と小説を何でも読みます。通勤がバスと電車で、その時間が読書タイムになっています。旅行は行けてないですが、印象に残っているのは大学の卒業旅行で行ったエジプトです。

家族構成は？

妻と息子1人の3人家族です。息子とは休日によく公園で遊びます。最近ではサッカー、フリスビーをよくしています。

コロナ感染予防のアドバイスがあればお願いします。

無駄な外出は控えた上で手洗い、マスクを徹底することですね。それができればそうそうウィルスをもらうことはないと思います。それが基本で全てではないかと思

最後にメッセージをお願いします。

分からないところもいっぱいあると思うんですが、できるかぎり利用者さんの望んでいることに寄り添いたいと思っていますので、よろしく願います。

どの質問にも笑顔で丁寧に答えてくださいました。短い時間の中でも先生の優しく明るい人柄がよく感じられました。お忙しい中、ありがとうございました。

(聞き手) 松島幾馬編集委員、星野聡美編集委員

○社会福祉法人花ノ木役員（理事・監事）全員の再任承認、及び令和2年度会計決算が6月9日開催の理事会、6月25日開催の評議員会において認定されましたので、定款第32条の規定により公告します。

◇理 事

山内 一 酒井 愛夫 向井 純一

寺田 直人 中村 正孝 矢田 勲

◇監 事

松本 行雄

山内 勇

◇会計監査人

監査法人グラヴィタス

代表社員 公認会計士 木田 稔

○なお、6月28日開催の理事会において、理事長、常務理事の再任が承認されました。

◇理事長 山内 一 ◇常務理事 寺田 直人

令和2年度 資金収支計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算(A)	決 算(B)	差異(A)－(B)	備考	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	835,490,000	877,649,298	△42,159,298	
		医 療 事 業 収 入	1,336,151,000	1,350,992,276	△14,841,276	
		喀痰吸引等研修事業収入	550,000	254,000	296,000	
		借入金利息補助金収入	500,000	425,970	74,030	
		経常経費寄附金収入	10,000	7,000	3,000	
		受取利息配当金収入	5,000,000	6,993,918	△1,993,918	
		そ の 他 の 収 入	2,191,000	2,451,449	△260,449	
		事業活動収入計(1)	2,179,892,000	2,238,773,911	△58,881,911	
	支出	人 件 費 支 出	1,722,274,000	1,673,602,808	48,671,192	
		事 業 費 支 出	224,481,240	222,673,237	1,808,003	
		事 務 費 支 出	155,798,000	154,596,427	1,201,573	
		支 払 利 息 支 出	1,001,000	999,196	1,804	
		事業活動支出計(2)	2,103,554,240	2,051,871,668	51,682,572	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	76,337,760	186,902,243	△110,564,483	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	23,364,000	23,340,920	23,080	
		施設整備等寄附金収入	1,240,000	1,240,000	0	
		施設整備等収入計(4)	24,604,000	24,580,920	23,080	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,192,000	17,192,000	0	
		固 定 資 産 取 得 支 出	67,106,000	58,584,260	8,521,740	
		ファイナンスリース債務の返済支出	4,230,000	3,582,708	647,292	
		施設整備等支出計(5)	88,528,000	79,358,968	9,169,032	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	△63,924,000	△54,778,048	△9,145,952		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	35,771,000	0	35,771,000	
		その他の活動収入計(7)	35,771,000	0	35,771,000	
	支出	積立資産支出	47,011,000	194,981,731	△147,970,731	
		その他の活動支出計(8)	47,011,000	194,981,731	△147,970,731	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	△11,240,000	△194,981,731	183,741,731	
予備費支出(10)		5,000,000 △3,826,240	—	1,173,760		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		0	△62,857,536	62,857,536		
前期末支払資金残高(12)		0	488,902,379	△488,902,379		
当期末支払資金残高(11)＋(12)		0	426,044,843	△426,044,843		

(注) 予備費支出は、診療療養等材料費(2,786,181円)、薬品費(1,040,059円)に充当使用した額である。

令和2年度 事業活動計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	障害福祉サービス等事業収益	877,649,298	835,406,133	42,243,165	
	医療事業収益	1,350,992,276	1,340,771,441	10,220,835	
	喀痰吸引等研修事業収益	254,000	452,000	△198,000	
	経常経費寄附金収益	7,000	103,600	△96,600	
	その他の収益	2,068,399	2,004,641	63,758	
	サービス活動収益計(1)	2,230,970,973	2,178,737,815	52,233,158	
	人件費	1,673,928,280	1,646,626,466	27,301,814	
	事業費	219,741,969	208,586,946	11,155,023	
	事務費	154,596,427	136,066,150	18,530,277	
	減価償却費	128,274,737	130,516,046	△2,241,309	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△28,708,627	△29,009,376	300,749	
	サービス活動費用計(2)	2,147,832,786	2,092,786,232	55,046,554	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		83,138,187	85,951,583	△2,813,396	
サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	425,970	519,630	△93,660	
	受取利息配当金収益	6,993,918	4,423,949	2,569,969	
	その他のサービス活動外収益	383,050	1,325,800	△942,750	
	サービス活動外収益計(4)	7,802,938	6,269,379	1,533,559	
	支払利息	999,196	1,128,222	△129,026	
	その他のサービス活動外費用		609,285	△609,285	
	サービス活動外費用計(5)	999,196	1,737,507	△738,311	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6,803,742	4,531,872	2,271,870	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		89,941,929	90,483,455	△541,526	
特別増減の部	施設整備等補助金収益	23,340,920	1,252,360	22,088,560	
	施設整備等寄附金収益	1,240,000	11,000,000	△9,760,000	
	特別収益計(8)	24,580,920	12,252,360	12,328,560	
	固定資産売却損・処分損	620,128	21	620,107	
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△694,667		△694,667	
	国庫補助金等特別積立金積立額	23,840,920	200,000	23,640,920	
	特別費用計(9)	23,766,381	200,021	23,566,360	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	814,539	12,052,339	△11,237,800	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		90,756,468	102,535,794	△11,779,326	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,545,980,048	1,534,227,535	11,752,513	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,636,736,516	1,636,763,329	△26,813	
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)	194,981,731	90,783,281	104,198,450	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,441,754,785	1,545,980,048	△104,225,263	

貸借対照表

令和3年3月31日 現在

(単位：円)

◆資産の部		退職給付引当資産	868,656	◆純資産の部	
流動資産	525,734,257	その他の積立資産	1,935,411,453	基本金	462,820,387
現金預金	135,981,044	資産の部合計	4,690,325,724	基本金	462,820,387
事業未収金	339,100,161			国庫補助金等特別積立金	444,453,091
未収補助金	42,350,949	◆負債の部		国庫補助金等特別積立金	444,453,091
医薬品	4,894,841	流動負債	204,740,216	その他の積立金	1,935,411,453
立替金	330,180	事業未払金	49,125,698	その他の積立金	1,935,411,453
前払費用	3,077,082	1年以内返済予定設備資金借入金	17,192,000	次期繰越活動増減差額	1,441,754,785
固定資産	4,164,591,467	1年以内返済予定リース債務	2,885,271	次期繰越活動増減差額	1,441,754,785
基本財産	2,085,865,347	未払費用	41,315,147	(うち当期活動増減差額)	90,756,468
土地	481,499,760	預り金	7,900	純資産の部合計	4,284,439,716
建物	3,698,828,743	職員預り金	3,909,188	負債及び純資産の部合計	4,690,325,724
減価償却累計額	△ 2,094,463,156	仮受金	12,340		
その他の固定資産	2,078,726,120	賞与引当金	89,868,372		
構築物	28,624,190	未払消費税	424,300		
車輛運搬具	23,450,555	固定負債	201,145,792		
器具及び備品	338,282,869	設備資金借入金	197,056,000		
減価償却累計額	△ 284,866,827	リース債務	3,221,136		
有形リース資産	20,913,924	退職給付引当金	868,656		
ソフトウェア	16,041,300	負債の部合計	405,886,008		

令和2年度

苦情解決事業報告

令和2年度は、発達外来を利用されている方の保護者から1件の苦情申し出がありましたので報告します。

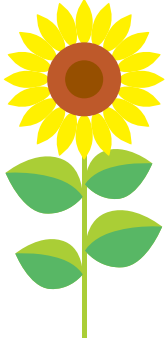
苦情内容として、発達外来のシステム変更が正確に伝えられていなかったことに加えて、次回の予約日を双方で確認できていなかったなど、総じて、情報伝達が適切に行われなかったことが原因であることがわかりました。

今回、貴重なご意見を伺うことができたことにより、今後このようなことが繰り返されないよう、ご家族に分かりやすい説明や確認方法を改めて考え直す機会となりました。

新たな対策として、発達外来の検査等の流れを丁寧に説明することはもちろんですが、担当医と患者様、ご家族での診療となりますので、必要に応じて外来看護師や心理判定員が同席すること、また、次回の発達検査日程を外来看護師等、複数で確認し、紙面にてお渡しすることになりました。

今後も、利用者やご家族とのコミュニケーションを大切にし、安心して利用できるよう信頼関係の構築に務めてまいります。

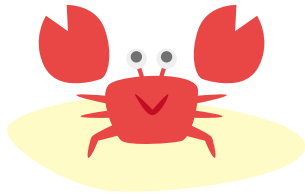
(苦情受付担当者 内田和彦)



花ノ木の動き

(令和三年一月一日～令和三年六月三十日)

- | | |
|------|--|
| 1/4 | 仕事始め |
| 2/17 | 所内研修「後期医療安全」 |
| 18 | 医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター
防災訓練 |
| 3/1 | 京都聖カタリナ高等学校 看護実習(11) |
| 11 | 第10回事例研究発表大会 |
| 12 | 第4回理事会 |
| 25 | 第4回評議員会 |
| 4/1 | 辞令交付式 |
| 5/6 | 新規採用職員研修(2) |
| 12 | 明治国際医療大学 看護実習(14・22・23) |
| 12 | 新規採用職員研修「防災対策・リフト車操作」
美化活動 |
| 9 | 慰霊祭 |
| 12 | 新規採用職員研修「系統理解Ⅰ」 |
| 18 | 医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター
防災訓練 |
| 6/2 | 新規採用職員研修「系統理解Ⅱ」 |
| 17 | 所内研修「人事評価制度」
医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター
防災訓練 |



ありがとうございました

寄付・寄贈 (敬称略)

◎寄附

瀬野浅行／星和電機工事株式会社

編集後記

「努めなければならないのは、自分を完成することだ。試みなければならないのは、山野のあいだに、ぼつりぼつりと光っているあのとしびたちと、心を通じあうことだ」サン＝テグジュペリ『人間の土地』(新潮文庫) 訳・堀口大樹

彼の作品では『星の王子様』があまりにも有名です。彼は航空郵便の黎明期から、フランス―南米への夜間飛行路を確立した職業飛行家の一人として活躍していました。当時は命を賭した危険な職業でした。それもあってか、ここまで職業を自己と同一化し、哲学・精神的なものに高めることができるのかと感じたことを覚えています。

彼はこの職業を通して人間の尊厳について語っています。『人間の土地』はサン＝テグジュペリの人間観が凝縮された一冊です。

夜空を進むちいさな飛行機にたったひとり、見下ろす大地にぼつりと光るともしび。見たときに抱くであろう人々の営みに対するいとおしさ。目の前の大変さ・厳しさは誰しも感じるのですが、この一つひとつのとしびに想いを抱く感性を大切に生きていきたいと思っています。

(編集委員 柳原洋介)